令和4年秋の叙勲 寺野彰名誉理事長が旭日重光章を受章

11月3日、秋の叙勲受章者の発表があり、寺野彰獨協学園名誉理事長（81歳）が「旭日重光章」を受章した。今回の秋の叙勲受章者のうち旭日重光章受章者は全国で13名のみ。旭日重光章は、旭日章6つの中で旭日大綬章に次ぐ高位である。

寺野先生は、理事長在任時、日本私立医科大学協会会長などを歴任し、約27年7ヵ月にわたり獨協学園の発展ならびに私学振興に寄与。昨年10月末に80歳で獨協医大を退職し、今年4月に、千葉県香取市にある医療法人香取おみがわ医療センター理事長に就任した。

本学法学部３年生が、外務省主催 「第38回国際問題プレゼンテーション・コンテスト」で 奨励賞受賞

11月5日、外務省主催「第38回国際問題プレゼンテーション・コンテスト」が都内で開催され、本学法学部の木村美祐さん（律3年）と秦茉優華さん（関3年）のチームが奨励賞を受賞した。

このコンテストは、設定されたテーマをもとに大学生が提言を行うもので、今回は、今年5月に広島市で行われる先進7カ国首脳会議（Ｇ７サミット）の目指すべき成果がテーマとなった。2人は「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の実現～ロシアのウクライナ侵攻によって分断された世界の再統合を目指して～」と題したプレゼンテーションを行い、明快な主張を誠実に訴えかける姿勢が高く評価された。

第10回経済学部 プレゼンテーション・コンテスト開催報告 ～大講堂で7グループが熱戦～

11月16日、経済学部は、「第10回経済学部プレゼンテーション・コンテスト」を、天野貞祐記念館大講堂にて開催した。このコンテストは、「学生の問題解決型プレゼンテーション能力の向上」、「研究活動・ゼミ活動の成果の紹介」などを目的に、2013年度に新設されたもの。7つのゼミから計21件の参加申し込みがあり、同学部学生支援制度実行委員会による書類審査を通過した7つのグループが本選に出場。米山昌幸ゼミの学生によるプレゼンテーションが最優秀賞に選出された。

長期留学終了者による 留学成果報告会を開催

10月26日、国際交流センター主催で長期留学終了者による留学成果報告会を開催した。本報告会は本学の国際化推進の一環として実施したもので、留学成果を可視化し、次のステップに向けての新たな気づきを得る機会を提供すること、また留学を考えている学生には海外体験について考えるきっかけを提供することを目的としている。

長期留学終了者は、2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学の成果や自身の課題のほか、今後のキャリアプランを発表し、多くの学生にとって今後の可能性を広げる貴重な機会となった。

草加かがやき 特別支援学校による 手作りパンの販売を実施

10月14日と12月16日、中央棟東側出入口付近にて、草加かがやき特別支援学校高等部によるパン、クッキー、カップケーキの販売が行われた。商品は同校実習にて作られたもので、全品50円で販売された。

同校とは、2019年度に集団実習を受け入れたことをきっかけに交流が始まり、今回の販売は、本学学生と同校生徒との連携と交流促進を目的に企画したもの。購入した学生は「普段あまり接することのない支援学校の活動を知ることもできる貴重な機会となった」とコメントした。多くの学生が購入し、大盛況となった。

第58回雄飛祭を開催

11月4日、5日の2日間、第58回雄飛祭を開催した。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し事前予約制、人数制限を行い、両日とも8000名前後が来場した。今回のテーマは「Happy holidays！」。家族や友人などと一緒に「非日常」を楽しんで、一つの思い出として刻んでいただきたいという思いを込めた。

ゼミの研究発表やクラブ・サークルのステージパフォーマンスのほか、ジェンダー等にこだわらず、魅力的な学生を選出する「グランツコンテスト」などが開催された。

（詳細は2～3ページの雄飛祭特集を参照）

2022年度「子ども大学そうか」 本学を会場に開催

10月15日、東棟で「子ども大学そうか」の今年度第4回目の授業が行われた。副学長である岡垣知子法学部教授が、「戦争はなくせるの？」と題した講義を担当し、対象の40名が受講した。

前半では、今日の国際社会の大きな問題である人口爆発、核兵器、貧困等の基礎事項について学んだ。後半では受講生を班分けし、戦争の原因や平和の可能性を班ごとに討議し、その結果を報告し合った。

「子ども大学そうか」は草加市と本学が共催する社会教育事業で、草加市内の小学5、6年生が計5回受講する。11月19日に今年度の全日程を終了した。

一足早い「学生」は熱心に受講した

第10回全国高校生英語 プレゼンテーション コンテストを開催

11月19日、外国語学部は、西棟207教室にて、「第10回全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」を開催した。今年は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、2019年以来、3年ぶりに対面形式で実施した。

第1位の獨協大学学長賞には、山賀春奈さん（埼玉県・春日部女子高等学校）が選ばれた。

本選結果は大学ホームページを参照。

https://www.dokkyo.ac.jp/information/2022/20221119005896.html

2022年度父母懇談会開催

10月22日、父母の会主催による父母懇談会が開催され、来校とオンライン合わせて407名の父母および保証人が参加した。全体会で山路朝彦学長（父母の会名誉会長）は、「コロナ禍での大学運営が続いているが、学内は落ち着きを取り戻しつつある。引き続き感染症の動向に注視しながら学生の皆さんが安心して過ごせるキャンパスを維持していきたい」と述べた。翌週からは、父母懇談会の一環として、帝国データバンクによる就職に関する講演と、内定取得学生による就職活動経験談がオンデマンド配信された。

第24回全国高校生ドイツ語 スピーチコンテストを開催

10月30日、外国語学部主催「第24回全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト」を天野記念館大講堂にて開催した。

当日は、応募総数188名のうち、予選を勝ち抜いた21名（第1部朗読部門9名、第2部プレゼンテーション部門7名、第3部フリースピーチ部門5名）が本選の舞台に臨んだ。

審査の結果、第１位の最優秀賞には、第1部からは福本啓太さん（東京都・北園高等学校）が、第2部から佐藤怜雄さん（神奈川県・横浜国際高等学校）が、第3部からは髙橋紗彩さん（埼玉県・伊奈学園総合高等学校）が選ばれた。

第33回獨協インターナショナル・ フォーラム開催 「新しい時代と生涯キャリア教育 ―ドイツの「国家継続職業教育 戦略」から何を学べるか？―」

11月19日、産業・社会構造が変化する中、ドイツの事例を参考に、日本の公的な継続職業教育の課題と今後の展望を考えることを目的として、ドイツと日本の研究者・政策立案者による講演や報告、参加者からの質疑応答を含めたパネルディスカッションを行った。コロナ禍以降、3年ぶりの対面形式（オンライン併用）によるフォーラムとなった。コーディネーターは、大重光太郎外国語学部ドイツ語学科教授。

大学からのお知らせ

第56回卒業式、第45回学位記授与式

学部を指定して2部制で挙行します。卒業生1名につき父母・保証人等2名まで式典参加が可能です。
実施日：2023年3月20日（月）
場　所：獨協大学35周年記念館アリーナ
第１部 10：00～11：30 外国語学部、法学部
第２部 13：30～15：00 国際教養学部、経済学部、大学院
※新型コロナウィルスの感染拡大等により、内容変更が生じた場合は、ホームページ及びPorTaⅡで案内します。
※学内で着物レンタル希望の場合は、獨協大学同窓会（TEL：048-941-6865）までお問合せください。

2022年度秋学期「学生による授業評価アンケート」、「学生による教育環境改善のためのアンケート」にご協力ください

実施期間：2022年12月20日（火）～2023年1月24日（火）
対　　象：全学生
回答方法：PorTaⅡ→「履修」タブ→「授業評価（教育環境改善）アンケート回答・参照」から回答
所要時間：約30分
問い合わせ先：自己点検・評価室（6棟1階）
☎ 048-946-1824　または　048-951-2666
✉ jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

2023年度 学費について

＜口座振替の方＞

入学年度		2019年度以降	2018年度以前
春学期	口座振替日	4月12日	4月10日
	手続締切※	3月20日	—
秋学期	口座振替日	9月12日	9月10日
	手続締切	8月20日	—

口座振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日が振替日となります。
※下の■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内をご覧ください。

＜銀行振込の方＞

	春学期	秋学期
振込用紙の発送	4月初旬	9月初旬
納入期限	4月30日	9月30日

※修学支援新制度対象者の学費納入方法については大学ホームページをご参照ください。

■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内
このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を＜銀行振込＞から＜口座振替＞に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご検討ください。
【Web口座振替受付サービスの概要】
・Web画面によるオンライン手続（銀行届出印不要）
・口座振替日：春学期4月12日、秋学期9月12日 ＜Web口座振替受付＞
・3月20日までにお手続きいただければ春学期の学費から口座振替となります。
・手数料は大学負担となります。

読書人カレッジを開催

10月5日、本学では初となる「読書人カレッジ」を開催した。「読書人カレッジ」とは、学生の読書文化を育むことを目的として、株式会社読書人と公益財団法人日本財団が共同で始めた企画講演。今回は、ジャーナリストの増田ユリヤ氏にご講演いただいた。

増田氏は、取材先で出会った人々とのエピソードを交えながら、世界各地の移民問題を中心に昨今の国際情勢について解説。歴史や文化を深く理解し、広い視野をもって世界を見つめることの重要性を説かれた。

蛯原アナ×並木選手　OB対談「プロの世界で感じていること、今より一つ上の自分を目指すコツ」

12月16日、東京ヤクルトスワローズ 並木秀尊選手（21年済卒）が本学を訪れ、山路朝彦学長への表敬訪問の後、雄飛ホールにて、共に硬式野球部OBである日本テレビアナウンサー蛯原哲氏（97年律卒）と対談を行った。事前予約制で約120名の在学生が集まった。イベントの最後にはプレゼントビンゴ大会が行われ、当選者にお二人からサイン入りグッズなどが渡された。

第37回獨協大学高校生親善剣道大会を開催

11月23日、本学35周年記念館アリーナにて、第37回獨協大学高校生親善剣道大会を開催した。
40年前に始まった歴史のある大会で、新型コロナウイルス感染症の影響で３年ぶりの開催となり、首都圏から36校が参加した。コロナ禍の影響により、公式戦以外の大会がなくなり、高校生剣士にとっては日頃の稽古の成果を確かめられる貴重な機会になったとの好意的な評価をいただいた。今回は、コロナ対策を徹底するために、午前中に男子団体、午後に女子団体を行い、密状態を避ける工夫を施した。
■優勝校（男子団体）：城北埼玉高校
■優勝校（女子団体）：星野高校（埼玉県）